

# 聖光学院校友会報

聖光学院  
校友会発行

横浜市中区  
滝之上100番地  
聖光学院内  
045(621)2051  
発行人 浜野弘規  
印刷所  
神奈川新聞社

## 卒業生の集いは中止 来年の開催へ期待

今年は3年ぶりに聖光祭が通常開催されたが、聖光祭と同日に開催している校友会総会は昨年に引き続き書面決議方式による実施となり、卒業生の集いも中止となった。来年こそは総会、卒業生の集いが通常開催され、卒業生の笑顔が咲く春となることを期待したい。

## 校友会総会

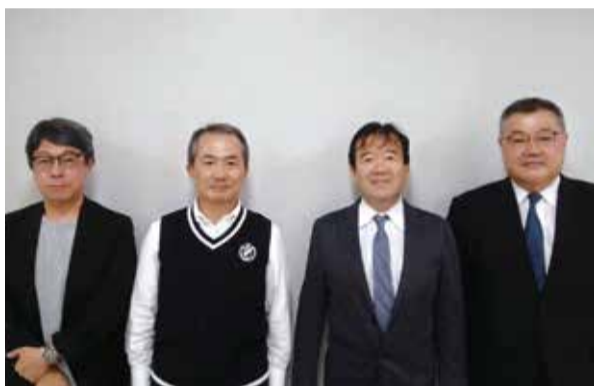
今年度の校友会総会も昨年に引き続き書面決議方式による実施となり、賛成多数ですべての議案は可決された。



総会資料は  
QRコードを  
資料結果を  
参照する

新会長  
浜野 弘規氏(18期)  
副会長  
吉田和之氏(18期)  
本城直樹氏(19期)

総会書面決議により、2022年度の新会長に浜野弘規氏(18期)、副会長に吉田和之氏(18期)、本城直樹氏(19期)が選任された。そのほかの役員は下記別表のとおり。



左から石川貴之前副会長(17期) 受川修前会長(17期) 浜野弘規会長(18期) 吉田和之副会長(18期)

## 会長就任挨拶

浜野 弘規

このたび17期の受川修前会長を引き継ぎ、本年度聖光学院校友会会長を仰せつかりました。18期の浜野弘規と申します。副会長には本城直樹氏にお願いをいたしました。どうぞよろしくお願いたします。経験したことのないパンデミックに揺れ動いたこの2年間、会員諸氏の生活は如何だったでしょうか。そして貴重な学生生活を満足に享受できなかった母校の後輩の苦勞は如何ばかりだったかと拝察いたします。この春、2年ぶりに聖光祭が一般公開されるといことを聞いたので(残念ながら、恒例の校友会の懇親会である「卒業生の集い」は中止、緑溢れる修道院の風景が懐かしいです)久々に山手の丘を登っていきました。そこでは、今までの鬱憤・払拭を全て発散するような若者たちの活気あふれた祭典の姿に、第2の校歌といわれるMy Home Townの歌詞の一節「あの頃(こ)は僕らの特別な場所だった」を自身も久しぶりに実感したものでした。

## 校友会会員IDピンバッジ販売のお知らせ

【直接購入の場合】  
学校受付にて税込1,000円にて販売していただきます。名前と期を伝えてからご購入ください。  
【郵送希望の場合】  
左記のQRコードにてフォームでお申し込みください。ピンバッジ代金と郵送料(ゆうパック代)、代金振り込みの際の手数料はご負担ください。

この聖光学院校友会会員IDピンバッジは、1期生の卒業生が発起人として企画したものです。卒業して数十年、たくさん卒業生が社会に出て、聖なる光で世を照らし始めている。でも、ほとんどの卒業生はそれが同窓生だと気づかない。もし、同窓生とわかっていたら、もっといろんな話が最初からできたのに...

今年度に入り、日常生活を徐々に取り戻しつつありますが、新型コロナウイルス感染症はまだ終息の段階を迎えていないので、各自でくれぐれも自愛ください。自分自身の専門領域である「口腔ケア」も忘れずにお過ごしください!

今年入学した母校の生徒は65期とのこと。校友会もすでに1万人を超える会員を擁した伝統ある組織になってきました。コロナ禍でも揺るがず、更に教育レベルを高めた母校の教育環境を温かく見守り、惜しみなく支援してゆくことが校友会の使命であると考えています。副会長、11名の理事、監事、事務局長の沖田先生、そして名誉会長の工藤校長とともに今後の更なる支援と継続的な校友会のあり方を考えていきたいと思っております。1年間の任期ではありますが、皆様のご協力よろしくお願いたします。

## 2022年度 校友会役員

役職	氏名	期
会長	浜野 弘規	18
名誉会長	工藤 誠一	11
副会長	吉田 和之	18
副会長	本城 直樹	19
理事	門間 哲雄	19
理事	菊嶋 秀生	20
理事	五十嵐秀典	23
理事	山口 祥治	24
理事	山本 宗男	24
理事	榎田 恭平	27
理事	田中 崇司	28
理事	加賀美博之	31
理事	小島 勇祐	37
監事	原 大蔵	18
監事	大村 貴志	23
事務局長	沖田 耕一	25

なんだ、あの上司は卒業生だったのか。話しかけてみよう。  
在校生がこのバッジを見たら、席を譲ってくれるかもしれない。  
いろいろな心配事、やっぱり信頼できる聖光卒業生に相談したい。  
などなど。  
何気ない日常で、同窓生同士がさりげなくつながる。そんなふうはこのピンバッジが役に立ってほしいなあ、と思いつきました。

ピンバッジのデザインは、校章の世を照らすトーチをモチーフにしました。六角形は校章へのオマージュで、ふっくらとした縦長のプロポーションで「成熟」を表しました。三段の台で「教育理念」を、二つの炎で「建学の精神」を表しました。

2003年版までは校友会名簿があり、それを頼りに必要な情報入手することも可能であった。しかし、名簿は更新されなくなり、役に立たなくなってきた。こうした状況を踏まえ、

1、趣旨  
聖光学院の校友会員が1万人を突破したが、卒業してはばらくすると、同期の関係がほとんど希薄になってくる。と同時に、様々な生活面で信頼できる卒業生からのアドバイスが必要が高まっていく。

2、目的  
聖光学院校友会員及びその家族や遺族間の互助、各種支援、知識、情報等の交換・共有を図り、聖光学院校友の結束を維持することを目的とする。

- 1期 田中靖夫
- 2期 横内豪雄
- 3期 近藤 富士夫
- 4期 乳井豊初(校友会会長)
- 5期 佐々木裕
- 5期 田中謹司
- 15期 海老名 季晴
- 23期 五十嵐秀典
- 25期 菱木啓之(デザイナー)

## 聖光祭は3年ぶりの通常開催



## 過去最高の来場者数

本年4月30日、5月1日の土・日にかけて聖光祭が実施された。新型コロナウイルスの影響を受け、この2年間は開催時期を4月末から9月に移し、人数も事前予約制として制限する限定公開であったが、今年は春

へと開催を戻し、人数制限も設けない3年ぶりの通常開催となった。聖光生をはじめ、聖光を夢見る多くの人にとっても待望の通常開催ということもあり、2日間での来場者数は21148人にのぼり、



過去最高の来場者となる賑わい



入場に列をなす人たち





